

おんじゅく

2

昭和53年 2月

第173号

千葉県御宿町役場



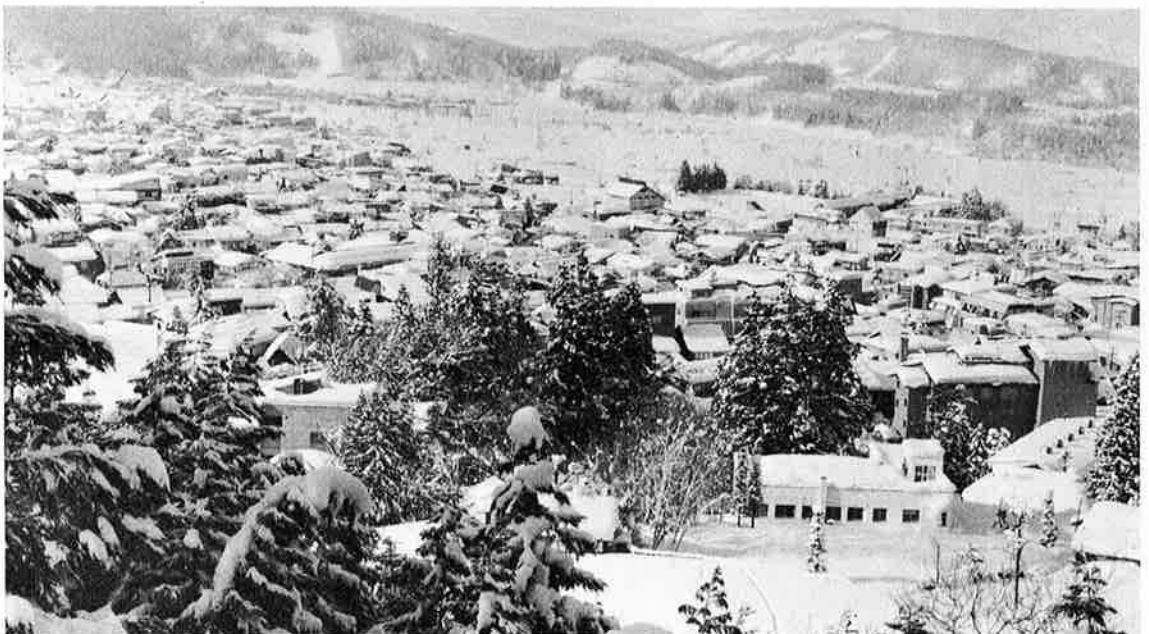
初じめての雪国(長野県野沢温泉村にて)



指導員の手ほどきで練習

3年目も大成功——海と山の子の交流

海と山の子の交流3年目は、1月29日から2月1日までの日程で行われました。子どもたちは、大自然の驚異に小さな胸を大きく羽ばたき自然への挑戦を試みました。また野沢温泉の人々の心暖まる歓迎と素朴な人情に触れるなど、大きな体験をしました。各方面からの多大のご支援により無事終了しました。心から感謝申し上げます。この事業が長く継続することを祈り今回の交流状況を報告いたします。



雪におおわれた野沢温泉村

野沢のみなさん、ありがとうございます。
 金井菜一郎

待ちに待った日

一月二十九日(日)早曉四時半
 役場前広場は既に満員。期待に胸をふくらませた生徒と、見送りの

父親、母親でいっぱいです。吐く息も白い寒い朝なのに、なにか熱気がたちこめている。さもあるう、

待ちに待った野沢温泉村に出発する、その朝なのです。

定刻五時に出発。バスの中は大はしゃぎ、とても寝るところではない。これは無理もないこと、この私にも覚えがある。



かっこだけはまあ、まあ……

昭和十年、中学一年生だった私、サンドスキーが縁となって、雪のホントのスキーに連れて行ってもらえることになった。普平のスキー場へ向う夜汽車も、夜明けの電車のなかも、寝るところではなかった。ニコニコしてしまうのをおさえて、普通の顔をしていようとするのがやっとなった。やがて夜の明けるころパツと眼の前に展開

今後も絶対続けねば

千葉県には、十万人以上のスキーヤーがいる。御宿の子どもたちにも、あのすばらしい思いをさせてやりたい。大きな夢を育ててやりたい。そして、それも一流のものを経験させたい。幸いなことに、この願いはかなえられた。野沢温泉村との交流が実現した。そして三年目になる。

御宿と野沢のたくさんの中学生が、文通しているそうです。そして小学校二年生ぐらいから、中学一年生になれば野沢へスキーに行けるのだと、胸をふくらませているのだそうです。責任を感じます。しりきれトンボになつてはいけません。どんなことがあつたって、この子どもたちの夢は大事に大事に守

つてやらねばと思う。

今年はいにくと悪性の風邪が猛威をふるって、出発まぎわに三人がダウン。仕度をしながら、行けなくなってしまった。泣いてくやしがつているとのこと。

ホントに残念だなあ。でも君たちは、早くも貴重な体験を積んだのだ。そう、君たちのこれから

の長い人生では、こんなことには
 さんぶつか。待っていたまえ。
 運はきつと形を変えてやってく
 るよ。



野沢の子どもたち

資料館でスキーの歴史の勉強

一月三十日(月)薄日でまあまあの天気。林道を歩いて日影スキー場まで登る。登るほどに野沢温泉街の全景が眼下にひろがる。生徒たちははじめて見る美しい雪景色に歓声。スキー資料館見学。日本のスキーの歴史を示す貴重な陳列品が展示されている。しかし生徒たちは、はじめてのスキーに心

まるでペンギン鳥部隊

生徒は十班。PTAは二班に。十時、いよいよスキー始め。まず歩き方から。ヨチヨチ、キヤアキヤアとペンギン鳥の大軍団。しかし指導員は天下に誇る野沢スキー学校の一流指導陣。内田主任講師以下各班まもなく場所をきめて白熱した講習風景が展開する。

ふつう初心者がスキーを教わる場合、こんな一流指導員に教えてもらうことは、まずあり得ないことなのです。もうひとつ、初心者がスキーを教わるための、理想的な地形がつくられているのです。スタート地点が水平であること。ゆるやかに緩斜面につづくこと。



きょうも楽しいスキーの練習

がはやり、視線はチラチラと外の方ばかり向いている。でも、この勉強は日程のうち、キチンと聞かなければダメ。まして解説者片桐匡氏は往年の名選手、そして数々のオリンピック選手を育てた「日本の片桐」。めったに聞ける話ではない。

るる習 がま練 曲止の

お昼近くになると子どもたちは大分カッコウ良くなる。滑るのに

がないことなど。事前にブルトーザイや雪上車を使って、この理想的な地形の練習場が造成されているのです。みんな気がつかなかったでしょう。この野沢温泉村では、千数百万円もする雪上車を十五台も持っているのです。そんな一流スキー場だからこそ出来ることなのです。

ストックで加速し、後半をボーゲンでシュートと曲げて止まる。スキーを習うのに一番良い年頃なのです。油の乗った惜しい所で昼食。今年は二日目の山頂行きに備えて、第一日目はみっちり基礎回転(ブルグボーゲン)を練習するという方針。生徒たちの班は、午

さて、みんなの腕前は？

少し出きる大人組は午後解放されて自由練習。その腕前は次の通り。

中学の先生ナンバーワンは朽方先生。役場の若い職員、いつスキーを習ったのかなかなかの腕前、三上君が一番。町議連のトップは断然、鶴岡(光)議員。交流三年精勤の成果あって、とにかく転ばない。青団連の松崎委員は口と同じくスキーも器用、松本委員はへっぴり腰なれど曲ったり止まったりできるから体協会長とし

全員を山頂に登らせる。これはこの交流の大きな柱なのです。そのため野沢温泉村では山頂に雪上車、パトロール隊を配置され、

後はもっと広い、長いスロープに移動した。PTAママ班は残念ながら当初の練習場を脱出し得ず、ひきつづいて基礎回転と格闘。律

気で好人物、人気抜群の森寛指導員、PTAママ組のへっぴり腰相手に大奮闘、汗みどろです。

てママアアというところか。

四時、全員スキーで林道下り。生徒はすいすい、PTAはすってん、すってん。今日の午前十時頃は全員ベンギン鳥だったのに、もうこんなに差がついた。生徒は温泉の源泉麻釜(おがま)見学。

両町首脳陣が焼肉パーティ
五時半から焼肉レストラン寿限無(じゅげむ)で歓迎宴。御宿側代表十一名、野沢側十二名、交流事業の永続をねがい乾盃、懇談二時間

万全の策を立てていてくれるのです。

しかし天候には勝てません。吹く、降る、晴れてくれの願い

も空しく、一月三十一日、夜明けの窓の外は、真暗な雪空からシンシンと雪が降っている。
ウーム。むつかしいところだ。
山頂の降り具合は里の三倍と見なければ。標高が百メートル高くなると気温は〇・六度低くなる。里がマイナス五度なら、山頂はマイナス十度。そしてガスと風がおまけにつく。決行するか、止めるか、早朝より内田主任講師と電話しきり。判断がむつかしいところだ。

長坂スキーセンターで気象情報を

収集しての討議続行。九時半、中止の発表をする。向林ゲレンデを中心に、ロマンスリフト(長さ一

白熱化するスキー講習会

ふりしきる雪もなんのその、気合のかかった講習が展開する。生徒たちのスキーが目に見えてうまくなって行く。午後、雪が小やみとなる。ときどき薄日がさす。講習にひとしお熱気が入る。

残念ながら、捻挫、打撲、骨折

(ヒビ)など二、三週間程度以内のケガ四人。すぐパトロール隊により病院で手当。

各班指導員を先頭にボーゲンで右に左に回りながらトレイン(汽車のようにつながってすべる)こと。想像できるだろうか、これが昨日はじめて雪を見た子どもたちだなんて。

リフトから各班のトレインを眺め、うれしくてたまら

キロ)をフル利用してのスキー講習に変更する。

ぬ。まさに指導法日本一のスキー学校である。せめてもう一日滑らせてやりたいなあ。シュテムター(五級)、パラレルターン(四級)までもうひと息なのになあと、欲がでる。

張り見張り るばかり 模範演技

二時三十分、予定通り野沢中一年生との交流会。交流の方法は学校の先生に一任ということなので、希望、意見も二、三あるけどこれは後日の問題とする。ぜひ話し合

い機会をもちたい。
しかし野沢中生徒のスキーデモンストレーション(模範演技)は圧巻です。さすが人口五千の村でオリンピック選手七人もだした「スキーの野沢」の子もたちです。

これには、「一流のもの」を見る感動があります。演出とナレーション（語り）を研究すれば、インタースキーのだしものになると思う。インタースキーとは四年に一回開かれる世界スキー教育会議のこと。前回の会場はチェッコスロバキア国ピソケタトリのスキー場。私は日本代表のひとりでした。オース

ありがとうございます

折しも雪はすっかりあがり、ゲレンデは夕陽にキラキラ輝いている。

めつたにぶつからぬ絶好のコンディションとなっている。予定はあと三十分足らず。各班とも仕上

トリアの子どもたちのスキー遊びの演技が見事で、世界の代表たちから賞讃を浴びていた。今回の会場は日本国、蔵王。この野沢生徒の演技は、日本の雪国の子どものスキー生活を表現するのにふさわしいデモンストレーションだと思う。演技終了四時。

げに入る。

各班のトレインが流れるように右に左に回りがりながら、気持よさそうにすべり降りて行く。まことに見事だ。

スキーの醍醐味が、子どもたちの

あつという間の72時間

全員整列して解散式。正味三日

間七十二時間の野沢温泉村訪問、あつという間に終わってしまった。待ちに待っていたのに。子どもたちは口々に言う。

「あまり短かすぎる。野沢にすーといたい。」そうだ。野沢滞在時間は正味四十九時間、ほんとうに短かい。それほど、野沢温泉村には

学ぶことがたくさんある。人口五千の村が単独で、市でも尻ごみする国体というたいへんな全国行事を引き受ける。この心意気と団結。スキーの聖地オーストリアのサンアントンと姉妹村を結んでいる国際性や民度。そのくせ村中にみなぎっている律気で素朴な人情風。そしてオリンピック

頭のなかに、胸のなかに、身体のなかに、しみつき焼きついてしまったことだろう。そして、それは一生消えはしない。

四時二十五分、惜しいところだがきちんと終了する。四時三十分、終了式。全員整列して指導員の先生たちに「ありがとうございます」

七時、森村長以下野沢温泉村幹部ほか大ぜいの見送りのなか、バス発車。一班の宮崎指導員（役員総務係長）の人氣は絶大、「宮崎センセイ、宮崎センセイ」と子どもたちの歓声しきり。バスは夜道をまっしぐら。夜も明けやらぬ二月一日早暁五時、御宿町役場前着。

選手を七人もだすような、激しい闘志を秘めている野沢の人たち。

これらの気風は二日間のスキー指導を受つた十二人の指導員の指導態度のなかに象徴されている。とにかく一生懸命なのです。言葉はやさしいけれど、一心不乱なのです。これが御宿の子どもに伝わらないワケがない。子どもたちも一生懸命だった。

みんな今年山頂へ行けなかった。そのかわり信じられぬぐらい

いスキーがうまくなった。いや、君たちほもつと大きなものをつかんだ。君たちは力いっぱいやってみることを覚えた。力いっぱいやってみると出きるんだということ

もつともつと心の交流を

一週間過ぎた二月八日、役場会議室で野沢温泉村訪問について反省会が開かれた。いつものとおり大へん盛況でした。この行事をすばらしいものとして、大成功であったとして受けとめる大勢のなかに、ピリッと辛子のきいた意見が出ました。相当に突つこんだ意見のやりとりがありました。夏の受入れを心配する声です。

「二日目の晩、二、三人の野沢の先生が宿舎を訪ねてきて、海水浴なら近くの直江津で出さるといふようなことを言っていました。

心配です。御宿の海水浴に、野沢スキーほどの魅力があるのでしようか。果して喜んでもらえるでしょうか。そして、何よりもほんとうにこの夏、野沢の子どもさんたちが、御宿へやってきてくれるでしょうか。」

貝塚議員は言う。「バスでやってくるとする。県の

を、脳ミソだけでなく身体が覚えた。私は野沢から帰つた子どもたちが、ひとまわり立派になつたようにみえてならない。

北西部の都市化された千葉県、次に話題を集めた成田空港、九十九里波乗り道路から見える大海原御宿での漁村生活の体験、帰りには走つても走つて終りのない京葉臨海工業地帯。そのまま生きた地理じゃないですか。生きた社会科の勉強じゃないですか。そういう長いバスの旅を逆に生かすようなコースを案内すべきだと思いますね。」

この人、ガラは悪いけれど、なかなか良いことを言う。私はこう思うのです。

昭和三十五年には二百三十万だった千葉県、その頃は半農半漁、原始産業の生活だった御宿町。昭和五十三年の現在、四百四十万人の千葉県、そして百三十万人の観光客を迎える御宿町。今年の千葉県観光大会会場は御宿町ときまつた。市ではない町が会場となつたのは史上御宿がはじめてです。メ



みんな熱心にトレインで練習

キシコ国アカプルコ市と港湾姉妹都市をむすびました。

本年十月にはメキシコ大統領をこの御宿町に迎えます。一団の元首を、この小さな御宿町が迎えようとしています。御宿町も一生懸命やっている町なのです。

うれしいことに、御宿町には漁村の生活が、昔ながらに残っている。そして、メキシコの塔に示される隣人愛を尊しとする気風がある。野沢温泉村の子どもたちを迎えるのを楽しみに待っている八千の町民の心がある。

こんな御宿に、きつとなにか心にひびくものを感じとってもらえるはず。交流とは、何よりも、心の交流に発すべきもの。

目先の小さな難問など、さがせばいくつもあろうけれど、それらは英智で解決出来るはず、乗りこえられるはず。広い視野で、「海と山の交流」の花を咲かせ、大きな実をみらせようではありませんか。そのメリットは、はかり知れないものだと思うのです。

御宿と野沢、海と山の子の夢を育ててあげよう。その輝かしい未来のために。

(昭五三、一一、一一)

交流事業の経過(概要)

1月29日(日) 第1日

◇午前4時30分 午前4時を少し

過ぎて、いつもの御宿の朝は暗い。しかし、この日だけはちがう。

タクシーの(ヘッドライトが右から左から近づいてくる。ことし3回目を迎えた、交流スキーの出発を待つ役場周辺はにぎやかである。

4時10分頃からぼつぼつ集まる。

4時20分には、大部分の生徒が集合する。4時30分、各クラスごとの参加人員の確認がはじまる。

千葉中央バス4台、役場前につく。(1・2・3・5号車の表示)、

国道に近い順に停車。

◇午前4時45分 参加人員の確認

終了。この間に野沢温泉村へのみ

やげ、交流旗などをバスに積み込む。

参加者
(カッコ内は男・女の人数)

生徒計 118名(58・60)

1 A 29名(14・15) まるじ宿泊

1 B 32名(16・16) 銀嶺 "

1 C 29名(14・15) 伝清 "

1 D 28名(14・14) トーエム "

先生 遠山校長以下10名

P TA 西川晴夫、末田敏子、川

城泰子、関野芳恵、関美和子、

沢フク、松本美津子、石井一恵

伊藤弘子、秋葉一哲、井上敏直

教育委員会 朽方係長

実行委員 金井英一郎(委員長)

田中岩雄、市東袈三郎、松本光

一郎、松崎啓二

議員 石田行雄、鶴岡光雄、佐藤

高二

事務局 加藤、井上、小松、氏原

役場職員 関、三上、滝口

救護班 渡辺澄男

ほか金井芳子ら四名

◇午前4時55分 金井実行委員長

遠山中学校長、田賀由子中学一年

生代表からそれぞれ出発に際しあ

いさつがあつたあと、直ちに指定

されたバスに乗りこむ。

◇午前5時 家族、実行委員、先

生などに見送られるなか、出発の

準備整う。各バスの窓から白い小



親にも楽しい行事

須賀 石井 一恵

られる。

子どもたちが小学生のころから待ちに待った野沢温泉村の子どもたちの交流。今年も自分達が参加する番だとばかり、昨年の暮れから本来の授業も半分以上の空、交流のためのプレゼントづくりにも、また、衣類の調達にと、喜々とし

て出発準備を急ぐ。生れて初めてスキーをはく大多数の子どもたちはやる気持は無理もない。親の私でさえ街で会えば「準備出きた」があいさつになっていた。

あつちこつちにお尻の穴

さて、いよいよ出発の一月二十九日。午前四時三十分の集合に遅れてはと親子ともども一時間おきに目をさまし、たいして熟睡して

いないのにもかかわらず目はパツチリと。両手の荷物は何のその、大勢の見送りを受けまださめやらぬわが御宿を後に四台のバスは子ども達の夢をのせ一路野沢へゴー。夕闇に雪が白く映えるころようやく野沢に到着。宿の暖かいてもなしを受け一休み。そして全員くっ合せ、初めて足にするくつ、何とも歩きにくそう、明日が思いや

「お先に帰りますー」と声を残し、本人の意思を無視したスキーに身をまかせ必死の思いで山道を下る。途中上から滑りくるスキーヤーの助けを借り一緒に連れられて行く人もあり思わぬところで交流の輪が広がる。全員無事に第一日目終了。

第二日目。予定では標高千三百メートルのところまでリフトを乗りついで上ることになっていたが雪のため断念。山頂に立ち金井委員長という「胸に刻みこむような一流のホンモノを見せるべきだ」と、いう雪山の素晴らしさを子どもたちに味あわせたかったが悪天候のためしかなかった。残念です。

向林ゲレンデで昨日に続いて練習。子どもたちは早くも午前中からリフトに乗り指導員の後を上手に滑り降りてくる。

午後二時三十分。野沢中生徒との交流会。両町村関係者のあいさつ、子どもたちのプレゼントの交換、そして野沢中生徒のスキー演技披露と続く。その間約一時間。行事はとどこおりなくすんだが肝心な子どもたちとの交流の場がありません。さびしさを覚えたのは私だけではなかったようです。

旗がでた。人数がそろい出発OKのサイン時刻5時出発。御宿をはなれるにつれ空が明るくなる。

日曜日のためか途中の道路はすいている。車中は紅白歌合戦さながらのにぎわい。しかし、バスだけはマイペースの走行。6回の途中停車ドライブインで小休止。

群馬ドライブイン到着時点で、人員の変更について野沢温泉村役員へ連絡。

高く変化に富んだ山が視野に入る。山の説明がマイクから流れる。天草ドライブインから現地到着予定時間を役員へ連絡。

午後6時 到着予定時間を1時間遅れ、バス駐車場(かしや駐車場)につく。歓迎の横断幕の近くに野沢の人たちが出迎えていた。

1月30日(月) 第2日

富井一二助役、河野総務課長、片桐 匡氏、笹岡教育長、久保田PTA会長、島田民宿組合長、松村観光企業課長、山田教育委員、宮崎総務課庶務係長、野沢中学校生徒代表、ヤマキ、まるじ伝清、銀嶺トーエム各民宿のご主人らの出迎えを受ける。

富井助役に対し御宿中学校生徒から花束が贈られる。同助役の歓迎のあいさつをうける。続いて野沢中学校生徒代表にも花束が贈られる。

CTCのテレビライト、カメラのまわる音がひときわあわただしさを誘う。各宿の人の案内でそれぞれの宿泊先に到着。生徒は一段落し直ちにスキー、くっ合せをする。

説明をきく。天候は時どき薄日のもれるくもり空、雪は降っていない。

午前8時30分 宿舎を出発、ケンちゃん食堂前に集合。10組は朝食のつごうにより30分程度遅れる。各自スキーストックをまとめ班ごとにスキー資料館へ。スキー、ストックはソリで資料館前へ運ばれた。資料館では、日本のスキーの歴史がわかる資料がたくさん収められている。ここでは片桐さんの

説明をきく。天候は時どき薄日のもれるくもり空、雪は降っていない。

それぞれの胸に思い出

日程も無事終了。二日間手をと



り足をとりに指導して下さった先生方に向林ゲレンデで別れを惜しみ、いよいよ帰途に着く。野沢の関係者や大勢の人たちに見送られ、バスのライトにくつきりと浮び上る

プレゼントの交換をする子どもたち

両側の雪、海の子どもたちにとって、珍しいこの雪景色がバックミラーに次第に小さくなってかすんで行く。真綿のような雪の感触をじかに肌でふれた子どもたち。あの広大なスキー場、未知のスキーをはいて自分の足で滑り降りた実感を初めて経験

俳句

野沢温泉村にて

石田 ゆき緒

山の子の眉もまたたかく牡丹雪
海の子か雪の中より躍り出づ
声となる子らの嶺より雪降りける

スキー靴穿き教へられ宿の門子らが待つリフトの雪を掃く男
民宿のあるじはスキー学校長
子ら交し手に手に雪の積りたる
寒鯉の反り身に子らははずむなり
あたたまる厨の底の雪解水
手折りたき宿の底の大氷柱
天ちかき深雪の奥の村豊か

した多感な年ごろの子どもたち。それぞれの胸に思い出はこれから洋々として広がる人生の素晴らしいページとなって彼らの心のアルバムに大切に収められたことでしょう。

早くも来シー ズンの計画

金井委員長をはじめ、野沢の関係者の皆さん、町関係者、学校関係者の方々の大変なお骨折りで実行されたこの子ども交流事業、本当にお世話になりました。子どもたちも大喜びで早くもあちこちで来シーズンのスキー行きをねだっているようです。

まだ初めて三回目。これから解決していかなくてはならない問題もいくつかあるようですが、小学生時代から楽しみにし、また、他市町村の人たちからもうらやましがられているこの「海と山の子交流」に惜しみない援助の手を町民みんなで差しのべるとともに末永く続くことを願い、夏には野沢で受けた恩をお返しすることを誓って結びとします。
「シーハイル」

に分け、12名の指導員がそれぞれの班につく。スキーの付属品の説明から基本的な滑り方に講習が進んでいく。

□各班の指導員次のとおり(全員全日本スキー連盟公認指導員)

- 1班 宮崎常夫
- 2班 松村 勉
- 3班 内田政治 (SAJ公認野沢スキー学校校長)
- 4班 河野 茂
- 5班 畔上勇治
- 6班 河野保夫
- 7班 富井正和
- 8班 門脇義二
- 9班 小林 勤
- 10班 笹岡公司
- 11班 富井辰夫
- 12班 森 覚

総括 片桐 匡 (長野県スキー連盟会長)

1班〜10班までの指導員は生徒
11・12班は父兄の指導にあたってくれたみなさん。

◇午後0時10分 美雪、デンペーシュナイダー、シュネーの4食堂で昼食をとる3班ごとにわかれる。スキーの班別に食事をとった方が後の練習にすぐ班編成ができるという利点から、1時にならないころから午後の練習に入る班もある。

◇午後4時30分 スキー練習終了。各自スキーをもって宿舎に入る着替をして、夕食前に村の街並みや麻釜(温泉の源)を見学。宮崎(野沢温泉村役場職員)さんの説明をきく。

◇午後5時30分 野沢側からの招待により交流の歓迎宴開かれる両町村から同数の人たちが選ばれ会に参加した。野沢温泉村の出席者は次のとおり。

森村長、富井助役、河野総務課長、松村観光企業課長、武井議長、笹岡教育長、片桐匡氏、内田スキー学校長、高田民宿組合長、禰津野中教頭、久保田PTA会長の11名。そしていつも設営に活躍する宮崎係長。

御宿町側の出席者は次のとおり。
金井委員長、石田副議長、鶴岡(光)議員、佐藤(高)議員、加藤観光課長、田中民宿組合長、遠山御中校長、松本体協会長、PTA西川顧問、青団連松崎会長、婦人



来年もまた来てすべりたい



1年D組 吉野敏明

も残念だった。ゲレンデから見ると見えなかった。ぼくたちは下の方のゲレンデを滑った。そして、リフトに何回も乗った。

「やっと野沢についたぞ！」そんな言葉がバスの中いっぱいに響いた。十三時間もバスにゆられてみんなあきてしまっていたのだ。

朝起きて空を見上げると、雲一つない快晴だった。コンディション上々。野沢のスキー場で滑るのは初めてなのでゲレンデの様子はどうか、人の出はどうかなどと、はやる気持ちを押さえながらスキー場にでかけた。青空に光る野沢の雪の山々がまぶしかった。

しかし、「野沢についたぞ！」という声に、乗りつかれた体が「ピン」とした。バスを降りるとそこは一面、真白な銀世界だった。一しゅん「ブル」と、冷気が体の中をつきぬけた。きしむ雪をふんでの第一歩が始まった。

第一日目の夜は、みんな興奮して、すぐに眠れず、何度も先生に「早く寝ろ、早く寝ろ」といわれたが、誰もすぐに眠れず、窓から光って下っているツララを取つてなめたり、スキー場を照らす電気をながめながら、明日のスキーを楽しみにふとんの中で、皆いつま

も残念だった。ゲレンデから見る毛無山の山頂は、厚い雪雲に隠れて見えなかった。ぼくたちは下の方のゲレンデを滑った。そして、リフトに何回も乗った。

僕は、スキーの経験があつたので指導してくださる先生のとおり滑れた。割合ならかなスローブだったので、直滑降で滑つてもスピッドが出ない。ゲレンデを思いきり滑った。なかには、ゲレンデではない新雪のなかに突っこんでしまった人もいて、まるで雪だるまのようだ。

練習第一日目は、まず、スキーのつけ方からはじまり足などをならすためにゲレンデをスキーをはいて横向きに登った。僕達の九班は全員好調だった。しかし、滑るのは滑れても止まり方が出きなくて、ひっくりかえる人もいたが、みんながんばつてうまくなろうと努力した。そして大半の人がうまく滑れるようになった。

その晩は、みんなつかれて、意外と早く眠ってしまった。

三日目の朝は、とても早く目がさめた。外をながめると、すごい勢いで雪が降っていた。そのため、毛無山に登るのを中止した。とて

午後、海と山の子の交流会をやった。野沢温泉村のスキークラブに入っている小中学生の模範演技を見た。ほればれするような滑りぶりだった。特にジャンプや回転などほとんどすばらしかった。そして、野沢中の一人、一人に心のこもった交換カードを渡した。海と山を結ぶ交流スキー。いつまでも続いてくれればいいと思う。時間のあるかぎり、思いきり滑った。全員スローブをかつこう良く滑った。いつまでも滑ってほしい。そんな気持ちがいつまでも心の内から離れなかった。また来

委員代表 末田敏子

この席で野沢側の受け入れ体制の完璧さに感謝するとともに夏の

1月31日(火) 第3日

◇午前7時30分 雪の降りがはげしい。本部から各宿泊先へ委員長からの指令がでる。
〔指令文〕

①本日の山頂行きについては長坂スキーセンターにおいて8時30分の気象状況で決定する。

②全員予定どおり8時30分までに長坂スキーセンターに集合の事。

③ゴーグルを絶対忘れないこと。スキーとストックを併せてしぼってくる。4つのリフトを乗り

④中止の場合はスキー練習をする。

◇午前8時30分 長坂スキーセンター前に集合、スキー学校ではけんめいに気象情報を収集し「上の平」行きの是否について慎重な討議

をしている。もちろん金井委員長も同席。その間、生徒は学校の二階で待機。

◇午前9時30分 スキー学校前へ全員集合。金井委員長から討議した結果が発表された。「誠に残念であるが本日の「上の平」行きは断念す

御宿への訪問を強く希望する旨を伝える。

る。山頂は現在の場所より3倍雪の量が多い。直ちに計画を変更し向林ゲレンデを中心に宿舍の近くのゲレンデですべる。本部をケンちゃん食堂に置く。満月、シャンツェ、山里の各食堂を利用する。

(昼食付) ◇午前10時〜12時 前日に続いて班ごとの練習はじまる。リフトを使う班もでくる。この間、御中の生徒スキーによるネンザなどで4名がパトロール隊のソリで、次々と野沢病院へ運ばれた。

ケガの状態は、ネンザ、打撲、骨折(ひ骨にヒビ)で最高2〜3週間の固定で治めするこのことである。

◇午後0時〜1時 昼食

◇午後1時〜2時30分 午後の練習時間2時ごろから生徒の交流事業に参加する野中の生徒集まり始

める。御中の生徒の間をぬうように巧みにスキーをあやつっていく。

◇午後2時30分 伊勢宮グランドに集合はじまる野中の生徒約70名、各々手にペナントをもって並ぶ。

御中生徒は交換カードやおみやげ

たい。来年、毛無山が雪をかぶ

とつても親切な野沢の人たち



1年A組
新井千賀子

今になって思い出せば、ほんとうに短かい期間だったと思う。野沢の人たちとの交流会。バスのなか、民宿での二泊、真っ白い雪山での楽しいスキー。数がありすぎて、わからなくなってしまうほどの思い出を今たどってみたい。

思えば、一月二十九日の早朝、寒いなかを背中にも両手にもたくさん荷物をさげてバスに乗りこんだ。バスのなかでみんなまでさわいでいると、知らない間に夜があけた。それから何時間かたった。あたりには田畑が広がり、四方には高い山々が見えてきた。「これが関東平野か」と、思った。そんな高い山々を見ながら、だんだん山奥に入るような感じになっていった。あまりにも私たちの住んでいるところと様子がちがうので、

るころー。

ホームシックぎみになった一時もあった。バスは十三時間もゆれ続けて、やっと野沢温泉村についた。バスを降りて感じたことは、思ったより寒くないこと。それに、雪が家々のこもればいによってキラキラ輝いていることである。千葉県では、見たくても見られない美しさだった。

歓迎会のあと「まるじ」という民宿まで歩いていった。雪の上を歩くのは、めつたにないことなので、とても歩きづらかった。

次の日、私は、生れて初めてスキーをやった。松村コーチは、スキーのはき方からストックの持ち方まで教えてくれた。スキーがすべるので、片方のスキーをはき終わっても、なかなかもう片方のスキーをはくことができなかった。

そんなことのくり返しだったが、その日の夕方にはなんとか、ころびころび山道をくだることができた。そのくだる途中、途中ころんだところを、見知らぬただ通りがかりの人が、起き方を教えてくれたり、起こしてくれたりしてくれ

た。「野沢の人って親切だなあ」と思った。

その次の日は、朝から雪が降っていたが、やはりスキーをした。午後には、交流会だった。「私たちの目的が交流会なのにカードを渡した人の顔も覚えていないなんて、少しあやふやだな」と思った。交流会は短時間で終り、残りの時間はまた、指導員の先生について、リフトに乗ったり、スキーをした。時間は、いっばい楽しんだ。はじめは、「すべる」というより「ころぶ」という感じだったが、そのころになるとすべられるようになり、「もつとやりたい」という望みが出てきた。スキーが終わると、もう、野沢から離れなければならぬ。私は、なぜかもつとここにいたいような気がしてたまらなかつた。

バスに乗っていると、野沢の人たちが手をふっている。

「良い人たちだったなあ。」と、つぶやいて野沢をあとにした。

家に帰って、このことを話すと父母が「そんなにおもしろくて、また行きたいのなら今度、機会を見て行こう」と、いつてくれた。

私は、うれしかった。もう一度、あの素晴らしい村、野沢に行けると思うと、ほんとうにうれしい。

を手に向い合う。

◇午後2時30分～3時30分 交流会は、野沢温泉村長(実行委員長)のあいさつ、金井委員長あいさつ、野中校長(教頭代行)のあいさつ、御中校長のあいさつ、野中の代表の歓迎のことば、野中からの記念品の贈呈、お礼のことばを御中の代表がのべる。菜の花や交換カードを贈る。

野中生徒のスキーの模範演技を見学。男女別クロスカントリ、アルペン滑降、ジャンプを披露。この頃から雪はやみ、晴天が広がる。

◇午後3時40分～4時30分 好天に恵まれ、斜面の雪の状態が絶好となる。残り少ない時間を有意義に最後の練習にはげむ。生徒はすっかりスキーになれ、指導員の滑るコースを素直に滑る。

指導員の先生にせがむようにリフトに乗る。先生方も生徒の意気におされぎみ。

◇午後7時 夕食を早目に済ませ、それぞれおみやげを買い求め6時50分までにバス駐車場へ急ぐ。

森村長、富井助役、武井議長、片桐匡氏、森寛氏、笹岡教育長、内田スキー学校長、久保田PTA会長、島田民宿組合長、松村観光企業課長、河野総務課長、宮崎係長、山田教育委員、そのほか多数の人の見送りを受ける「さよなら」バスの窓から手を振って別れを惜しむ、ケガをした1人は救護班の車で続く。着いた時と同じようにテレビカメラがまわる、ライトが野沢の人の顔を照らす。みんな雪やけた顔に笑いをみせ手を振っている。

生徒が車で帰るのを見とどけ事務局長役職員は8時30分出発時間までのわずかな時を家でおくった。93日間の交流事業は終了した。

2月1日(水)第4日

◇午前5時10分 定時の7時御宿着が2時間ほど早まる。役場到着前に宿直に有線放送を依頼する。あまりにも到着時間が早かったので出迎への父兄が少ない。

簡単な解散式を済ませ生徒は家路へ急ぐ。車の手配のできない生徒は30分程待たろうか。最後の



おひなまつり一年生

健康診断と知能検査

新しく小学校に入学する児童の就学時健康診断が行われました。これは学校保健法に基づき実施されたもので、小学校に入学して元気に勉強がつけられるか、また身体に欠陥がないか調査しました。



「おなまえは」

新入園児の面接も

新らしく保育所に入所する園児面接が行われました。「お名前は」「すきなたべものは」……など先生から質問をされるとお母さんの顔を見ながら答えていました。

おしくも二位

夷隅郡一周駅伝大会

二月十一日、第三回夷隅郡一周駅伝大会が寒風について行われました。参加は一般五、高校五、中学七の十七チーム。ゴールをめざして健脚を競いました。

当町チームの成績は、一般チーム二時間三分三四秒と、チーム最高を記録したが首位と九秒差で惜しくも第二位。中学チームは二時間八分三二秒で着外でした。

個人成績は鶴岡幸弘(五区A)越川芳範(五区B)井上金行(六区)が区間賞を獲得。

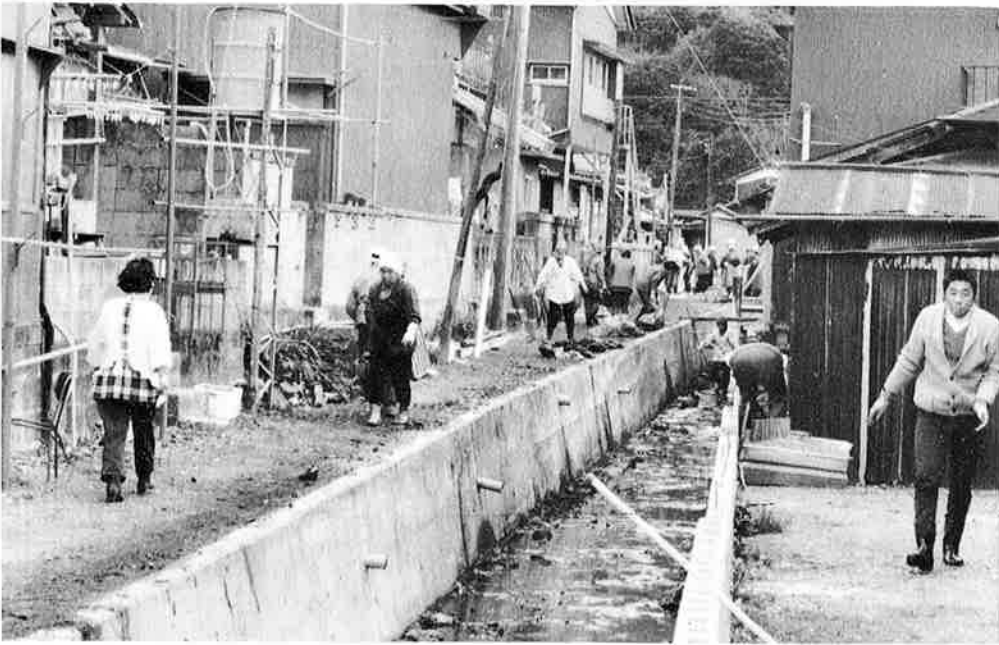


環境美化に汗

第二回町民清掃の日

第二回町民清掃の日が二月十九

日の日曜日、実施されました。前回同様、各家庭の周辺とそれぞれ指定された場所をみんなできれいにしました。



メキシコ公園建設

「メキシコの技師が現地を調べる」



現地を調べるメキシコの技師(左から三人目)

メキシコ政府と町との間で日西墨発祥記念碑周辺の公園建設が進められています。その現地調査のため、一月十七日、メキシコ国建設大臣顧問、建設技師ホルヘ・カンプサーノ氏ほか二名が来町しました。

町長、総務課長、商工観光課長が現地を案内し、公園建設の構想について打合せしました。現在、区域内の測量を行っています。これにもつぎ、再度メキシコ国との打合せが予定されています。

郡町村会長に

岩井町長

郡議長会長に

岩崎議長

二月一日に開かれた夷隅郡町村会会議で、岩井町長が町村会長に選出されました。また、二月十日に開催された夷隅郡議長会で、岩崎議長が議長会長に選出されました。

進学は中93%、高24%

進路調査 就職は中、高とも100%

今年の三月に、中学校、高等学校を卒業する生徒の進路状況について調べてみました。

中学校卒業生を見ると、ほとんどの生徒が高校進学(各種学校含む)を希望し卒業生の九三%(郡

内平均九二・二%)をしめています。就職希望者はわずか八名という状況で、高校義務教育化の現象がでています。進学内容は、普通

科高校が六〇%と断然多く、次に家政科高校一九%、農業高校九%

となっております。

県立御宿家

政高等学校卒業

生の進路は

進学の希望者

(大学、短大

専修学校等)

が二四%と過

去三年間で一

番低い進学率

となっております。

これは女子

専門学校の

ためであると

.....

県立御宿家

政高等学校の生

徒たち



考えられます。就職の状況は就職希望者の九二%が決定、内定者を含めると全員就職先が決っています。

求人件数は、県内企業百二十二

「青少年に夢と希望を」

町ぐるみで健全な育成へ

〔重点目標〕

◇青少年の仲間づくりを進めよう

○青少年が積極的に参加できる

行事を実施しよう。

○青少年の団体・グループ活動を

を援助しよう。

◇青少年との対話を進めよう

○家庭では、家族がそろって話

し合い、理解を深めよう。

○職場では、青少年との信頼を

深めるような対話を進めよう。

○地域では、春の祭りや行事を

通じて青少年との連帯感を深

めよう。

◇明るい社会環境をつくらう

健全育成を展開しましょう。

受験者は答案用紙とにらみ合い

真剣なまなこで問題に取りくんで

りました。

高六倍の競走率になった職種もあ

りました。

職員と保育所調理員、役場用務

員でしたが多数の応募者があり最

高六倍の競走率になった職種もあ

りました。

水道事業の開始と退職者の補充

をするため町職員採用試験が行わ

れました。職種は水道業務職員、臨

時職員と保育所調理員、役場用務

員でしたが多数の応募者があり最

高六倍の競走率になった職種もあ

りました。

をなくし明るい社会を築こ

う。

○「愛の一声運動」で事故や非行

をなくし明るい社会を築こ

う。

◇郡内中学校卒業生進路状況

		53年1月末日現在				
		総数	公立	私立	各種	塾
西	中	110	91	1	4	14
大	喜中	128	119	3	0	6
国	吉中	130	103	2	20	5
大	原中	350	283	13	14	40
岬	中	207	171	8	19	9
御	宿中	122	106	5	3	8
計		1,047	873	32	60	82

最高は六倍も 町職員採用試験

◇前納保険料の算出

	定額	附加
月額保険料	2,730	3,130
年間保険料	32,760	37,560
割引保険料	790	910
前納保険料	31,970	36,650

事情により保険料を納められなくなった時は、年金係に相談してください。保険料免除の申請ができます。

国民年金は、歳をとったり、母子世帯、あるいは障害者となった時に年金の給付を受けて家庭の安全を図るためです。あなたの将来のしあわせと国民年金制度の健全発展にご協力ください。また、保険料を前納すると次のように割引になります。

2,730円に改正
—国民年金保険料—

国民年金保険料が四月からこれまでの二千二百円から二千七百三十円に改められます。付加保険料四百円は据え置きです。これは、年金受給者の生活安定を守るため、老齢年金をはじめとする各種年金の給付額が増額されたからです。

神定直史君が二等に

桜井、三上 選挙啓発のポスター
君も入賞



県選挙管理委員会主催のいい選挙啓発ポスターのコンクールが

行われました。五千二百二十八点の応募があり、当町から出品した

作品のうち、次の人たちが入選しました。
作品のうち、次の人が入選しました。
○小学校二学年の部
二等 神定 直史 (御宿小)
三等 桜井 恵美 (御宿小)
○小学校三学年の部
佳作 三上 英之 (御宿小)

基本料金、人頭割とも三百円

四月改正のし尿処理手数料

二月二十日に開かれた夷隅郡環境衛生組合定例会で、し尿処理手数料が四月から基本料金三百円(八人以上六百円)人頭割三百円に改正されました。

これは、環境衛生事業の延びに加え、諸物価の高騰などにより各町の負担金が増額の一途をたどっているためです。そこで、昭和四十九年十一月か

ら据置きとなっていた手数料を、今回止むえなく受益者にも負担をお願いすることになりました。改定料金表は次のとおりです。
◎(おねがい)
①人頭料金の支払は必ず証紙でお支払いください。
②証紙は役場収入役室または漁業組合でお求めください。
③料金は滞納しないでください。

人頭料金表 (円)

人員	基本料	人頭料	計
1	300	300	600
2	300	600	900
3	300	900	1,200
4	300	1,200	1,500
5	300	1,500	1,800
6	300	1,800	2,100
7	300	2,100	2,400
8	600	2,400	3,000
9	600	2,700	3,300

収集回数1回増すごとに600円、7人家族まで 収集回数1回 従量制 1ℓ当り 10円 1,800ℓ(1台) 18,000円 従量制の最低基本料金を1回について 180ℓ1,800円とする(夏季を除く) 従量制契約の性質上 収集回数は月1回となります。

④簡易水洗トイレが販売されています。三カ月以上滞納すると中止になることがあります。

④簡易水洗トイレが販売されています。三カ月以上滞納すると中止になることがあります。工観光課または環境衛生組合へご相談ください。

町指定水道工事店の選定試験

(布施小)

水道事業の給水時期をひかえて、給水家庭の水道工事を取扱う指定工事店の選定試験が、一月二十四、五日の両日にわたり役場で行われました。試験は、法規と技術に分けて実施され、二十一店、三十一名が受験しました。
◇指定水道工事店決まる
町指定水道工事店が決まりました。給水装置工事は、早めに完了してください。
〔給水装置工事の工程〕
加入者(契約)↓指定工事店↓指

指定水道工事店

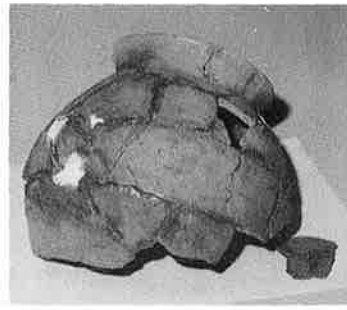
工事店名	住所	電話
岩瀬建設	久保1958	2876
加方備工業	久保1808	2211
中大村金物店	新町317	3321
大地気商会	久保2037	2667
アキバ時計電器店	新町312	2157
藤江商店	六軒町425	2928
米本電気工事店	新町219	3412
よ井電機	上布施1354	4301
	新町502	3575

定工事店設計↓役場設計審査↓指定工事店工事着工↓役場完了検査↓給水(飲料水として)↓加入者へ引渡↓6カ月間指定工事店補償

上布施小幡地区の出土器など

第二回民俗資料展おわる

第二回民俗資料展が二月七日から十二日まで資料館で開かれまし
た。今回は、大原中学校考古学ク



ラブの生徒がたくさんの石器や土器を出品してくれました。いずれも夷隅郡内で発掘されたものばかりです。とくに、上布施小幡地区からの出土品(写真参照)は立派なものです。

これらの石器、土器類は縄文後期(今から約三千年〜四千年前)のもので、よく観察すると土器の表面や矢じりの型に縄文後期の特色がよくあらわれています。

縄文後期の土器は製作技術の進歩とともに土器は薄手となりちみ

つて洗練されたものへと変化して
います。

この土器こそ縄文人の喜びと悲しみを表現したものでしょう。これらの土器は当時の小幡地区に生活していた古代人の文化の高さを、堂々とわれわれに語ってくれているようにさえ感じます。

— 町歴史民俗資料館 —

寄 贈

岩和老人クラブ(会員百十名)
久保老人クラブ(会員五十名)

而老人クラブは、余暇を利用してぞうきんをつくり、岩和田保育所、御宿保育所に贈りよろこばれています。



◆おめでた

齊藤 広恵
関 邦昭

一月 男3 女8 計11

区名 出生児 性別 保護者
久保 本吉 孝充 男 和之
" 浜井 桂子 女 良太

齊藤 月子

神田ちかえ

高山 初江

元日の早出の夫をいたはりて

山畑に草燃す人や日脚のぶ

落葉掃く老婆の髪にまた落葉

立春を待つや日ありの打合せ

元日の海は荒れぬて昏れにけり

大寒の塩さらさらと指を洩る

犬小屋に輪飾つけて年迎ふ

初春や琴ひくような波の音

明けくれの日がな炬燵を出ぬ夫と

朝市の大根凍てり白き息

万両の色もさえきて今朝の霜

着ぶくれて写真の母は同じ位置

ふきのとう摘む土手の人頬かむり

ほどほどに生きて山茶花一重なり

冬耕や空の蒼さにとけ入りて

浮下の長く練餌の寒の釣り

ふり向かぬ女うつくし春の雪

人住まぬ家のほとりの黄水仙

鏡餅またひび割れと子の告げる

吉野 静枝

石田ゆき緒

松井 郁子

滝口 芳水

中沢 美学

佐藤 笑人

初日より那須の樹水のことなども

吉野 静枝

曾根 黙歩

岩 井 敏夫

おんじゆく俳壇

公民館俳句教室
新春雑詠



吉野 静枝

吉岡みのる

曾根 黙歩

石田ゆき緒

初日より那須の樹水のことなども

千葉県御宿町役場

発行責任者 岩 井 敏夫

石田ゆき緒

発行所

発行責任者

岩 井 敏夫

編集者

鶴岡一成

人 口

(1月末現在)

	前月比
計	8,412
男	3,927
女	4,485
世帯数	2,311
	△
	7
	2
	8